

環境経営レポート 2024年

2023/8/1 ~ 2024/7/31



TP サーモ包装株式会社

発行日 2025年5月15日

■ 目次	P 1
■ 環境経営方針	P 2
■ 代表者挨拶	P 2
■ 会社概要	P 3
■ 環境マネジメントシステム	P 4
■ 環境保全活動結果及び評価	
・2024年度 環境保全活動の結果	P 5
・環境経営目標の実績等	P 5
■ 環境経営計画・取組内容・その評価	
・電力使用量の削減	P 6
・車両燃料の削減	P 7
・水使用量の削減	P 8
・廃棄物及びコピー紙の削減	P 9
・ポリ袋重量の削減	P 10
・ポリ袋製造時の効率化	P 10
・化学物質の管理	P 11
・グリーン購入の推進	P 11
・環境保全活動	P 12
■ 環境経営計画	P 13
■ 環境関連法規制の遵守状況	P 14
■ 総括	
・2024年度 活動結果の分析	P 14
・代表者による全体の評価,見直し,指示	P 14



TP サーモ包装株式会社

私達とがかかる
人と人にとって
ともに有意義な
企業になりたい

经营理念

～はじめに～

サーモ包装株式会社は静岡県東部沼津市に位置し、海・山に恵まれた環境の下、事業活動を営んでおります。

私たちは、この素晴らしい環境を維持・貢献していくことが社会的責務であると考え、より効果的に環境保全活動を推進すべく、2006年9月21日 沼津市自治体にシティ・ブルームへの参加以来、エコアクション21を全社員で取り組んでおります。

これからも絶えずマネジメントシステム改善を模索し、微力ながら地域社会へ貢献していく所存です。本誌では2024年度の環境経営の今をお届けします。

◆エコアクション21とは

持続可能な社会を構築のため、企業・公共機関・学校等、全ての事業者が、環境への取組みを効果的・効率的に行うことを目的に、環境省が策定しました。

環境に取組む仕組作り・施行・継続的改善に努め、その結果を社会に公表する認証・登録制度です。

■ 環境経営方針

■ 環境理念

サーモ包装株式会社は、合成樹脂製品の製造販売を通じ地域社会の環境保全に努めます。
環境に優しい製品の提供に努め、全社員が一丸となり地域の発展に貢献します。

■ 基本方針

私たちは、廃棄物発生抑制・再資源化・再利用・適切な最終廃棄物等、資源循環型社会の実現に向け全力で取り組み、より効果的な継続的改善を図っていきます。

■ 行動方針

- 1：社員一丸となり、環境保全活動に従事する
- 2：投入エネルギー削減で二酸化炭素排出削減を推進する
- 3：廃棄物の削減及びリサイクル化に取り組む
- 4：水使用量削減に取り組む
- 5：化学物質の適切な使用と管理に努める
- 6：グリーン製品の購入を推進する
- 7：全ての製品の製造工程及びサービスで、環境に配慮した取り組みをする
- 8：環境関連法令を遵守し、社会情勢の変化に対応する

制定 2006年11月30日

改訂 2017年 8月1日

代表取締役社長 河村 匠哉

■ ご挨拶

当社は昭和29年の創業以来、包装材料として多くの優れた特性を備えるプラスチックフィルムの普及に努め、常に商品を最適に保護する機能的な包装を考え、その経済性や消費者の利便性を念頭に、皆様のニーズに応えて参りました。

エコアクション21に関しては、2007年4月に認証・登録し、18年目になりました。

企業の社会的責任が常に語られるようになった今、我々に求められていることは単に生産活動を効率的なものとするだけではありません。

「非持続的資源利用・消費活動の下に成立しているビジネスは、自然環境の劣化を招き、またいずれ企業自身の将来にも影響を与える」

常に当事者意識を持ちながら、地域社会、そこに根ざす私たち自身の明るい未来の為にも、今後もエコアクション21に基づき環境活動を推進して参ります。

代表取締役社長 河村 匠哉

◆商号

サーモ包装株式会社



◆所在地

静岡県沼津市松長714-5(〒410-0874)

TEL 055-922-0535

FAX 055-922-4662

E-mail mail @thermopack.co.jp

◆代表者

代表取締役社長 河村匡哉



◆創業

1954年（昭和29年）3月1日

◆営業品目

家庭用ポリエチレン袋

業務用ポリエチレン袋

各種包装資材・機器

◆事業概要

包装資材の製造・販売

床面積：1,555m²

◆環境管理責任者

環境管理責任者 河村匡哉

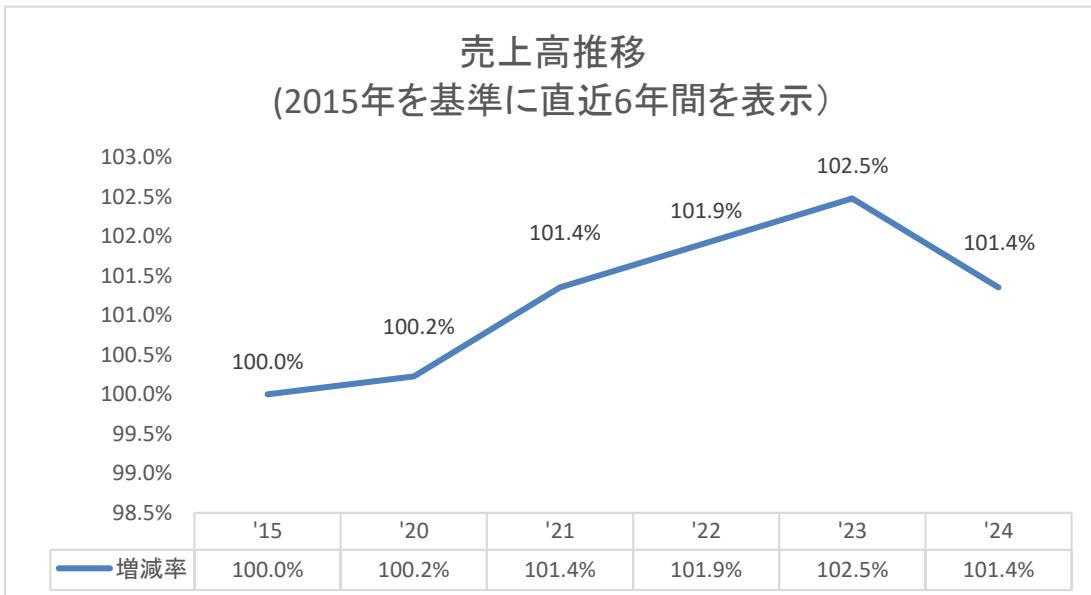
E-mail kawamura-masaya@thermopack.co.jp

◆事業規模

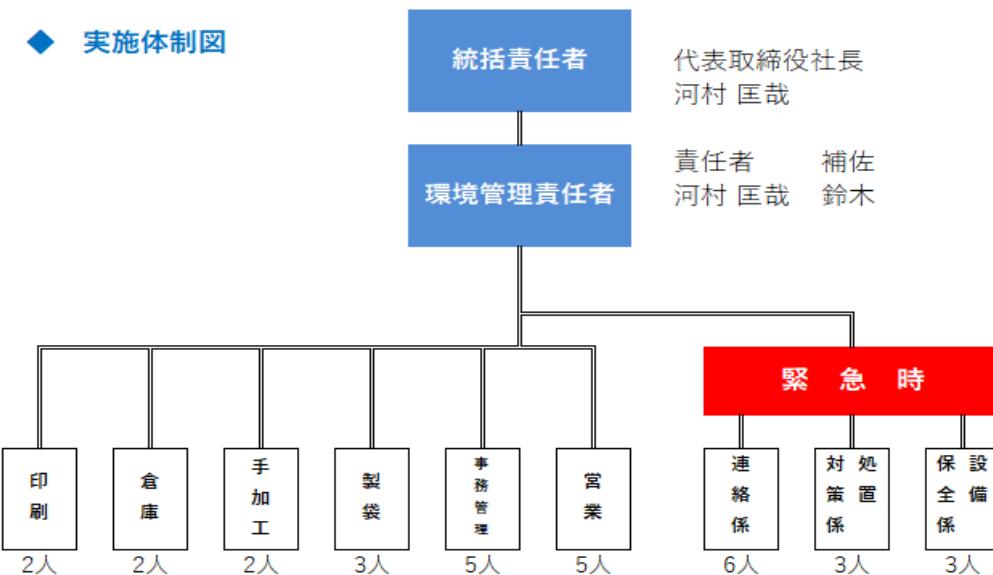
資本金 1,000万円

従業員数 22名

売上高推移 (2015年を基準に直近6年間を表示)



- 1) 認証登録範囲：本社・工場
- 2) 事業活動：包装資材の製造・販売
- 3) レポート対象期間： 2023年8月1日 ~ 2024年7月31日迄



◆統括責任者

- * 環境方針の制定
- * 環境マネジメントシステムの見直し

◆ 環境管理責任者及び補佐

- * 環境方針の計画立案
- * 環境方針の仕組み作り
- * 各部門への指示
- * 計画の策定、実績管理
- * 各部門データの集計
- * 毎月の全体会議での報告
- * 経営層への進展報告

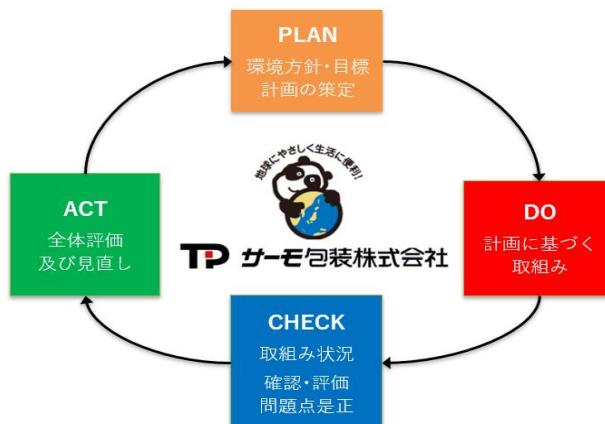
◆部門責任者

- * 担当部門の環境方針計画立案
- * 環境保全活動の実施
- * 各月データ作成、まとめ
- * 問題点の把握と解決
- * 各グループ員への教育

◆緊急時

- * 連絡係
⇒環境事故発生時の関係部署への連絡・通報
- * 処置対策係
⇒環境事故発生時の拡大防止
復旧作業
- * 設備保全係
⇒設備に異常がある場合、処置
保全

◆PDCAフロー



◆2024年度 環境保全活動の結果

【購入電力】 二酸化炭素(kg-CO2)=0.442(係数)×消費電力(kWh)

※再生可能エネルギーの固定価格買取制度等に伴う調整を反映後の値

環境保全活動管理項目			原単位	単位	環境保全活動の結果				
					'21	'22	'23	'24	前年比
① 消費量削減	エネルギー消費量	電力使用量	100万円当り	kWh	84.67	86.00	80.52	88.58	10.01%
		ガソリン消費量		kg-CO2	37.42	38.01	35.59	39.15	10.01%
		軽油消費量		ℓ	19.71	17.72	18.81	19.22	2.20%
	水使用量の削減			kg-CO2	45.73	41.11	43.63	44.59	2.20%
				ℓ	3.48	3.21	4.42	4.47	1.06%
				kg-CO2	8.98	8.28	11.41	11.53	1.06%
	一般廃棄物排出量の削減			m³	0.212	0.261	0.303	0.306	1.07%
				kg	9.69	10.71	11.51	11.94	3.76%
				kg	1.28	1.30	1.80	1.59	-11.77%
④ インキ・溶剤使用量削減	⑤ コピー用紙の削減			枚	41.71	48.49	46.85	51.20	9.28%
				件	2	2	2	2	0.00%
				kg	36.89	35.42	33.46	32.74	-2.15%
	⑥ グリーン購入の推進	ポリ袋厚み改善による重量削減		kg	0.30	0.25	0.15	0.21	40.00%
		ポリ袋製造時ロス量		kg	0.30	0.25	0.15	0.21	40.00%
				kg	0.30	0.25	0.15	0.21	40.00%
⑦ 製造工程での取組	⑧ 環境保全活動	環境会議開催	1,000円当り	回	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月
		火災訓練実施		回	年1回 5月	年1回 5月	年1回 5月	年1回 5月	年1回 6月
		緑のカーテン実施		回	6~9月	6~9月	6~9月	6~9月	6~9月
	⑨ CO2排出量総量			kg-CO2	82,923.010	79,093.038	82,475.646	80,299.720	-2.64%

◆環境保全活動の中長期目標及び評価

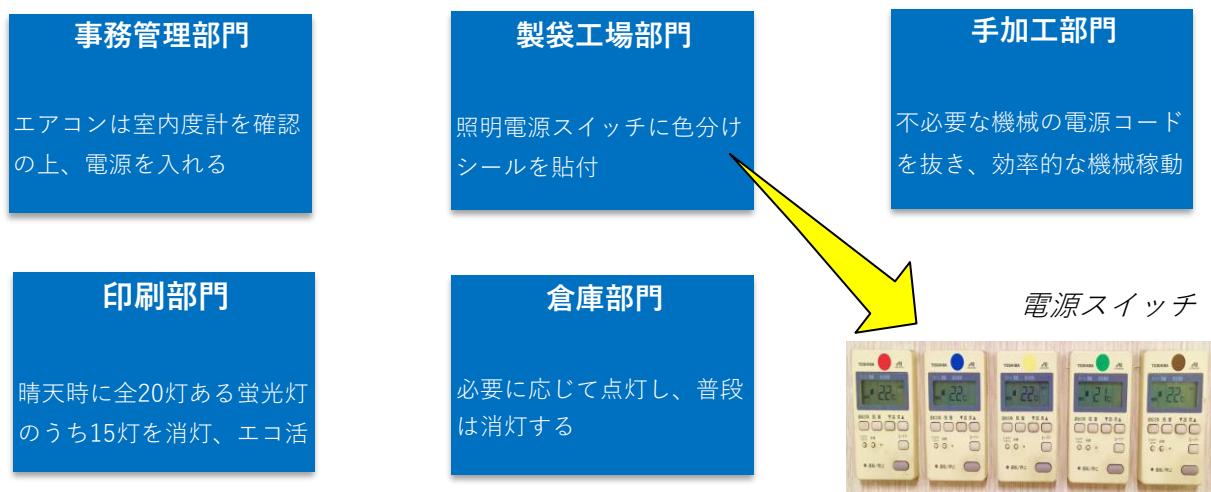
環境保全活動管理項目			原単位	単位	'13		'24		'25		'26	
					基準	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標
① 消費量削減	エネルギー消費量	電力使用量	100万円当り	kWh	97.71	87.58	88.58	×	87.15			86.71
		ガソリン消費量		ℓ	26.52	20.04	19.22	○	19.94			19.84
		軽油消費量		ℓ	0.45	0.403	4.470	×	0.401			0.399
		CO2排出量		kg-CO2	114.05	102.24	93.05	○	101.73			101.22
	② 水使用量の削減			m³	0.289	0.274	0.306	×	0.272			0.271
				kg	13.58	12.57	11.94	○	12.51			12.44
				kg	1.77	1.64	1.59	○	1.63			1.62
				枚	37.76	34.96	51.20	×	34.79			34.61
				件	2	2	2	-	2			2
⑦ 製造工程での取組	⑧ 環境保全活動	ポリ袋厚み改善による重量削減		kg	43.99	45.93	32.74	×	45.70			45.47
		ポリ袋製造時ロス量		kg	0.23	0.26	0.21	○	0.25			0.25
				回	毎月	毎月	毎月	○	毎月			毎月
				回	年1回	年1回	年1回 5月	○	年1回			年1回
	⑨ CO2排出量総量	環境会議開催		回	6~9月	6~9月	-	-	6~9月			6~10月
		火災訓練実施		回								
		緑のカーテン実施		回								

◆電力使用量の削減

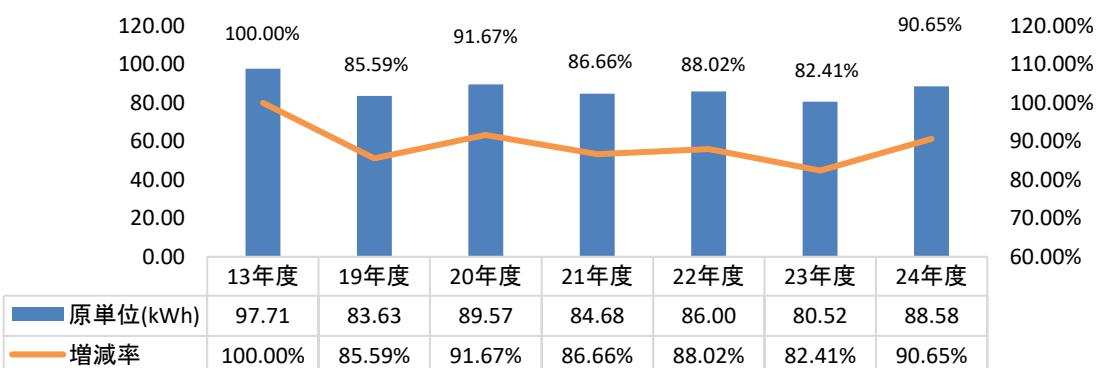
*目標達成のための主な方策

- ・休憩時間の消灯
- ・コンプレッサー、梱包機不使用時、電源をOFFにする
- ・休止設備はコンセントから外す
- ・空調機の温度設定を夏季27度、冬季22度にする

*主な取組み



*2024年度実績（原単位は販売金額100万円当たりのkWh）

電力使用量
(2013年度基準に、直近6年間)

原単位

原単位とは、生産または販売金額の単位当たりに対して、環境負荷がどの程度になるのか換算する単位です。環境負荷量を定量的に把握して、改善等の取組効果を評価するのに用いられます。

総量

総量とは実施の使用実績数量のことです。
当社は事業活動当り(販売金額当り100万円の原単位)で目標値及び実績値を設定管理しております。但し製造は1,000円当りとなります。

◆車両燃料の削減

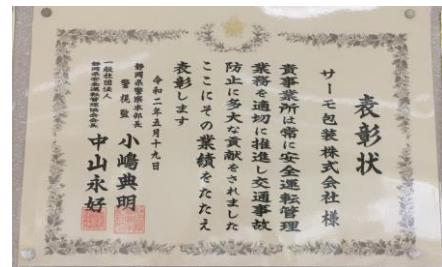
*目標達成のための主な方策

- ・社用車のエコドライブ及び運行効率化の促進
- ・エコドライブ啓蒙ポスターの提示

*主な取組み

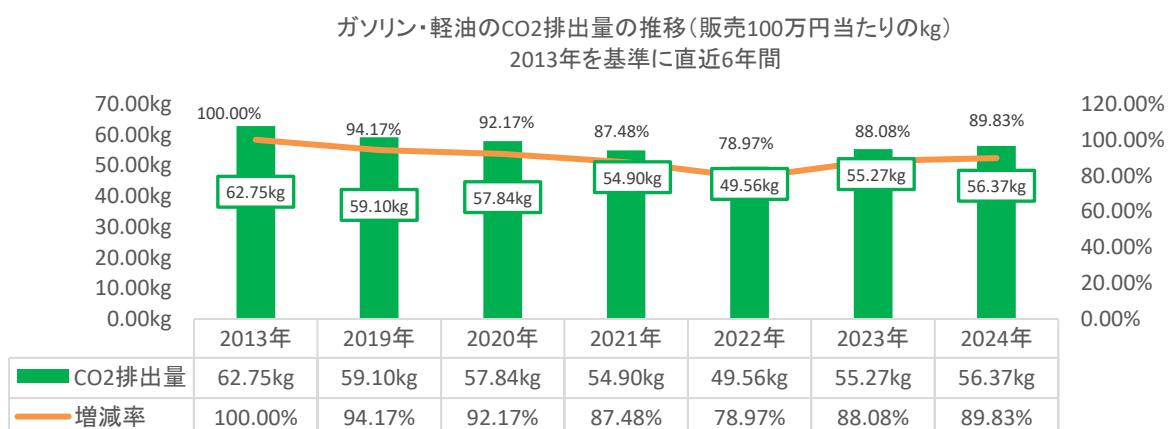
- ・出発前に交通状況を確認、効率的なルートの組立て
- ・タイヤの空気圧を定期的に確認する
- ・出発前に交通状況を確認、効率的なルートの組立て
- ・不要な積載は避ける

令和2年5月19日
優良安全運転事業所として表彰！



*2024年度実績

名 称	単位	2013年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ガソリン	原単位	26.52ℓ	22.37ℓ	20.07ℓ	19.71ℓ	17.72ℓ	18.81ℓ	19.22ℓ
	総量	22,358ℓ	20,019ℓ	17,858ℓ	17,736ℓ	16,034ℓ	17,114ℓ	17,302ℓ
軽油	原単位	0.45ℓ	2.73ℓ	3.59ℓ	3.48ℓ	3.21ℓ	4.42ℓ	4.47ℓ
	総量	379ℓ	2,444ℓ	3,198ℓ	3,136ℓ	2,905ℓ	4,025ℓ	4,025ℓ
CO2排出量	原単位	62.75kg	59.10kg	56.01kg	54.90kg	49.56kg	55.27kg	56.37kg
	総量	52,900kg	47,708kg	41,469kg	41,186kg	37,233kg	39,744kg	40,181kg



各社員のエコアクションへの取り組みにより、温室効果ガス排出量は確実に削減方向に動いています。

今後も継続してCO2削減に取り組んで参ります。

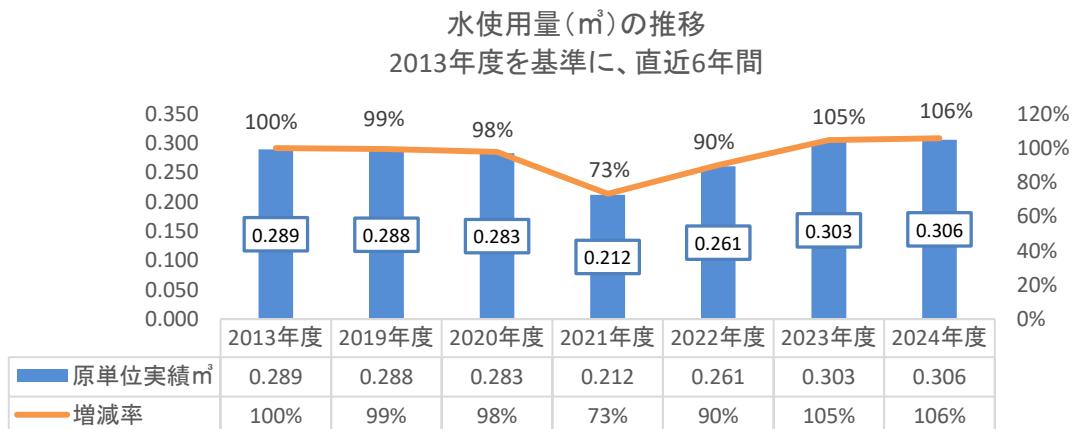
◆水使用量の削減

*目標達成の為の主な方策

- ・上水道の使用量を定期的にチェックし、水道配管等の漏水を監視する
 - ・水道蛇口からのポタ落ちの点検と保全
 - ・給水量を調整
- ⇒使用時の水量を抑制する為、蛇口6箇所の元栓を締め付け、無駄な水使用を抑制
- ・お手洗い使用時の注意事項として、手洗い蛇口の水漏れ確認を追加
 - ・各月の定例会で水使用量を社員で共有、不要な使用がないか確認
 - ・社員への節水意識付けとして、節水啓蒙ポスター、ステッカーを掲示
- ⇒ステッカーは水回り用、お手洗い用の2種を作成



* 2024年度 販売額における水資料量の推移(販売金額100万円当たりのm³)



年度	実績 (m ³)	原単位実績m ³	増減率
2013年度	244.0	0.289	100.00%
2019年度	257.5	0.288	99.40%
2020年度	265.0	0.283	97.77%
2021年度	190.8	0.212	73.24%
2022年度	236.0	0.261	90.10%
2023年度	275.5	0.303	104.60%
2024年度	275.5	0.306	105.76%

上記の様々な取組みを改善・継続し、水使用量の削減に今後も取り組んで参ります。

◆廃棄物排出量・紙使用量の削減

*目標達成の為の主な方策

- ・可燃ごみの排出減少に努める
- ・再生可能資源のリサイクル、有価物化の推進
- ・飲料物は水筒持参を推奨し、ペットボトル・缶の排出減を促進
- ・ペーパーリサイクル及びレス化を促進、紙使用量の削減に努める
- ・梱包資材（ポリ袋、PPバンド等）の再使用の促進

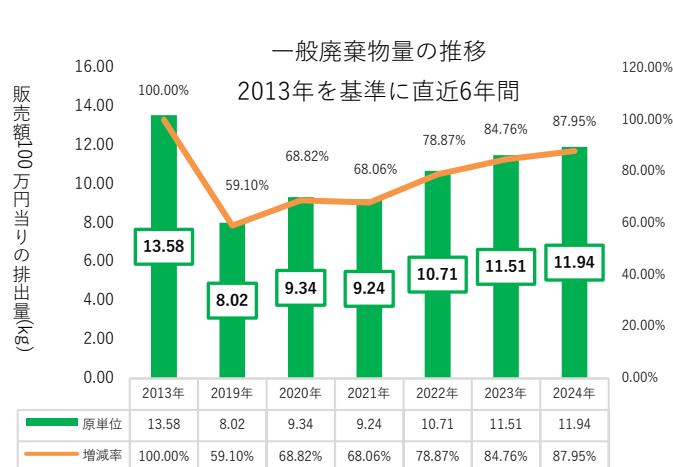
資源の再利用を
徹底します！



*主な取組み

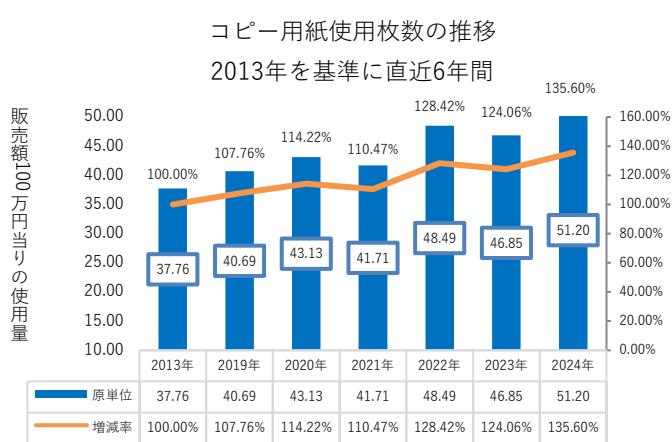
- ・リサイクル品分別、有価物化
- ⇒ 段ボール、紙類、ペットボトル、缶、容器包装用プラスチック等、分別の徹底
リサイクル業者に引取ってもらい有価物化を進めています。
- ・資源再利用、社内共有事項のペーパーレス（電子データにより共有）
- ⇒ 段ボール・封筒・裏紙の再利用に努めております。（ビジネスに支障無い範囲で使用）
裏紙は毎月使用枚数を報告、また社内共有事項の電子化を促進しております。

*販売額における一般廃棄物排出量の推移（販売額100万円当たりのkg）



年度	一般廃棄物 総量(kg)	原単位 (kg)	増減率 (%)
2013年度	11,445	13.58	100.00%
2019年度	7,181	8.02	59.10%
2020年度	8,315	9.34	68.82%
2021年度	8,316	9.24	68.06%
2022年度	9,691	10.71	78.87%
2023年度	10,472	11.51	84.76%
2024年度	10,747	11.94	87.95%

*販売額におけるコピー用紙使用枚数の推移（販売100万円当たりの使用枚数）



年度	コピー用紙 使用量(枚)	原単位 (枚)	増減率 (%)
2013年度	31,832	37.76	100.00%
2019年度	36,418	40.69	107.76%
2020年度	38,386	43.13	114.22%
2021年度	37,542	41.71	110.47%
2022年度	43,884	48.49	128.42%
2023年度	42,631	46.85	124.06%
2024年度	46,084	51.20	135.60%

◆ポリ袋厚み削減量の増加

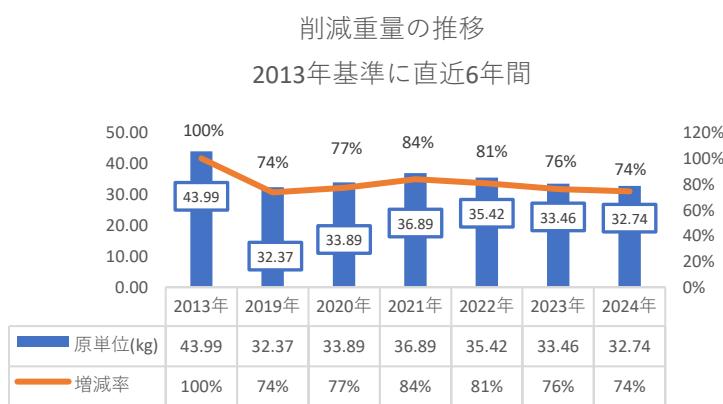
*目標を達成するための方策

- ・ポリエチレン薄膜品目のラインナップ増
- ・薄膜化の利点(低価格、環境配慮等)のアピール

*主な取組み

- ・沼津市指定袋の薄膜化を企画し、2012年7月より特殊原料を使用し、販売
- ・上記沼津市指定袋の販促、及び他市町村と打ち合わせの上、薄膜化促進を目指す
- ・一般包材の薄膜化を促進、特殊材料使用により薄膜化を図りつつ強度を維持した

*販売額における削減重量の推移（販売100万円当たりのkg）



	実削減量(kg)	原単位(kg)	増減率
2013年	37,081	43.99	100%
2019年	28,974	32.37	74%
2020年	30,159	33.89	77%
2021年	33,201	36.89	84%
2022年	32,057	35.42	81%
2023年	30,447	33.46	76%
2024年	29,464	32.74	74%

◆ポリ袋製造時の効率化(ロス率の改善)

*目標を達成するための方策

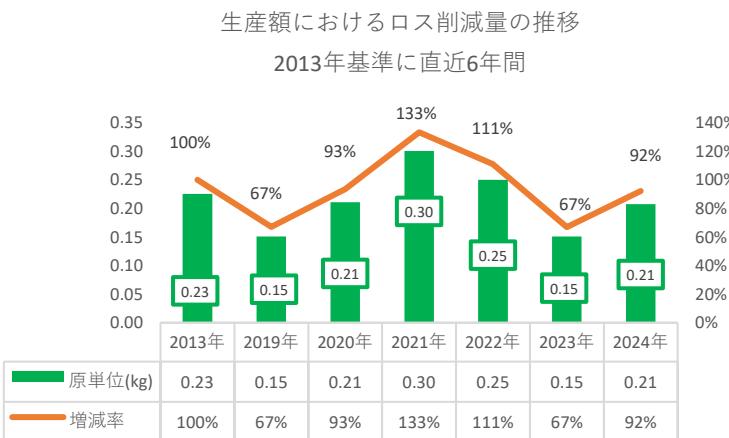
- ・ロスの抑制が生産性向上に繋がることを意識し、作業効率の向上を目指す
- ・原反製造元に品質改善を促し、作業効率の質を落とさない工夫をする

*主な取組み

- ・原反の切り替え時、新原反は必ず「しわ」と「空気」を取り除き、繋ぎ合わせる
- ・不良品発生報告書を作成し、製造元への改善要求、管理する

*生産額におけるロス削減量の推移（生産額1,000円当たりのkg）

今後もロス削減数を減らし、作業の効率化に努めます！



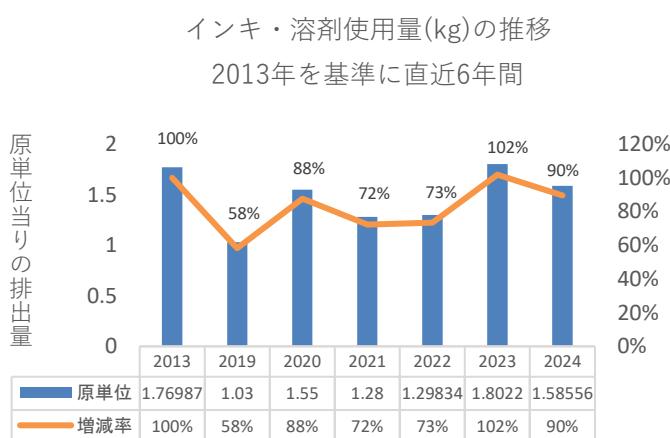
	実ロス量(kg)	原単位(kg)	増減率
2013年	354.6	0.23	100%
2019年	290.4	0.15	67%
2020年	386.1	0.21	93%
2021年	550.5	0.30	133%
2022年	481.8	0.25	111%
2023年	305.0	0.15	67%
2024年	426.2	0.21	92%

◆化学物質使用量の削減

- * 管理目標を達成するための方策
 - ・単位当たりのインキ、溶剤使用量の削減
- * 主な取組み
 - ・インキ、溶剤は前回使用残から使用する
 - ・インキ、溶剤使用の無駄を無くす工夫（蓋をしっかり閉め、漏れリスクを抑える等）
 - ・インキ使用量の管理（毎月の定例会で報告し、都度改善を心掛ける）



* インキ、溶剤の使用量の推移



年度	インキ使用量(kg)	原単位(kg)	増減率(%)
2013年度	1,492	1.77	100%
2019年度	1,037	1.03	58%
2020年度	1,393	1.55	88%
2021年度	1,155	1.28	72%
2022年度	1,175	1.30	73%
2023年度	1,640	1.80	102%
2024年度	1,427	1.59	90%

◆グリーン購入

* 主な取組み

- ・グリーン購入品選定基準の明確化
- ・グリーン購入対商品の一覧表を作成

グリーン製品選定の社内基準を明確すべく、グリーン購入品の選定基準を策定し、製品の購入を促進しております。
取り組み例として、備品購入用のカタログにグリーン購入法の表示アイテムの優先購入、が挙げられます。
循環型社会形成へ貢献意識と、また弊社の製品開発のヒントを得るべく、グリーン購入法の対象品の使用を促進していきたいと考えております。



◆環境会議の開催

毎月定例会の場で環境会議を開催しております。

各部署ごとに環境活動の報告・質疑応答を行い、環境活動改善促進を図っています。

日々の事業活動で発生する環境負荷をしっかり把握し、全従業員が同一の取組み課題・目標を持って自発的に環境保全活動に取組めるよう、今後も継続して取組んで参ります。

◆美化活動

一昨年から美化活動のひとつとして、玄関先に様々な花を植えています。

また、年二回(春・秋)に全社員参加の下、奉仕活動を行っております。

側溝に溜まった土砂、落ち葉、空き缶、タバコの吸殻等の清掃及び草刈を実施しました。

さらに毎朝営業部員による、早朝構内清掃活動も開始しました。

今後も定期的に社内、周辺の美化活動を継続していきます。

◆防火訓練

○日時：2024年4月26日

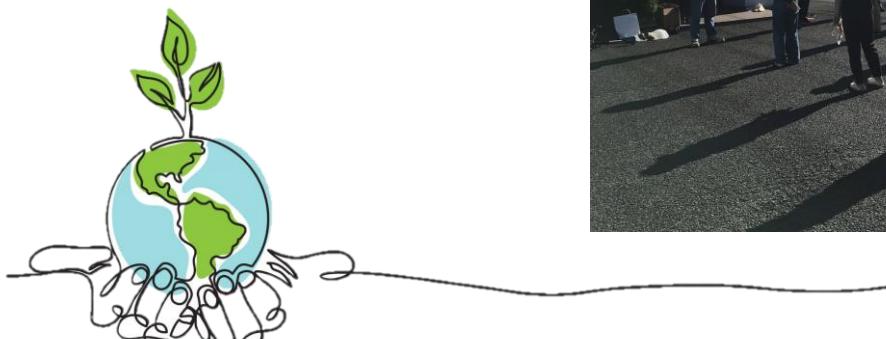
○場所：本社倉庫裏

火災時の三原則（初期消火、連絡、避難誘導）を意識した訓練を行いました。

主な訓練及び確認事項は下記の通りです。

- ① 消火器保管場所の把握及び取扱方法の説明
- ② 消火班、通報班、避難誘導班の全体の流れを把握（シュミレーションの実施）
- ③ 全社員避難場所の確認
- ④ 各部署ごとの確認・報告事項まとめ

社員一丸となり、環境経営を
意識し取り組んで参ります。



次年度の環境経営計画

取組目標	活動項目	責任者
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休み、残業時に不要な照明の消灯に努める ・ 照度確認 ・ OA機器を使用しない場合、電源OFF又は省エネモードにする ・ 冷暖房機器は適切な温度で使用する（夏季27度、冬季22度） ・ クールビズ推進 ・ 窓を開け、エアコンの使用は無理ない範囲で控える 	鈴木
車両燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの教育、実施等 ・ a. 不必要なアイドリングの禁止 ・ b. 急発進、急加速運転の禁止 ・ c. エンジンブレーキの積極使用 ・ d. エアコンの控えめな設定と使用 ・ e. 不要な荷物を降ろす ・ f. タイヤの空気圧チェック ・ ガソリン、軽油の利用実績把握 	齋藤
水使用の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏水の点検、節水に努める ・ 2ヵ月毎の利用実績把握 ・ 節水ポスターを貼り、不要な使用を控える 	鈴木
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裏紙を積極的に使用する <ul style="list-style-type: none"> a. 裏紙BOXを2種作り、適切な裏紙管理を行う ・ ペーパレス化を推進し、不要な紙使用を控える ・ モノクロ印刷の推進 ・ 印刷時におけるプレビュー機能の利用徹底 ・ 適切なゴミの分別徹底 ・ 毎月の排出量実績把握 ・ 倉庫資器材の管理、保管 	鈴木 青木
化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ まめな清掃を心掛ける ・ インキは前回使用残から使用する ・ 印刷ロスを抑え、適切なインキ使用に努める 	青木
商品改善、及び工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薄膜商品を増やす ・ 製袋技術の向上に努め、無駄な商品ロスをなくす ・ フィルムの品質改善に努める ・ バイオマス原料の研究、商品化推進 	河村
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材や消耗品の購入時にはグリーン購入に配慮する ・ サンプル送付時の梱包形態をコンパクトにする ・ 再生資材利用及び購入の検討 	鈴木
環境教育・環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部署 5Sの徹底 ・ 環境会議の実施（毎月実施） ・ 火災訓練、地震訓練（予定）の実施 	河村

今後も環境負荷削減に取り組み、その先のCSVを目指し活動に取り組みます。

該当する法規制	主な遵守内容	評価	確認日	確認者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 及び静岡県産業廃棄物の適正な処理 に関する条例	・ 廃棄物の適正処理、再利用化	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 廃棄物の分別保管基準遵守	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 廃棄物の収集、処理委託基準遵守	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 産業廃棄物管理表の管理（当該期間該当なし）	-	2024/8/1	河村(匡)
	・ マニュフェスト交付状況の報告（当該期間該当なし）	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 運搬又は処分が行われる施設の状況確認	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 特管(引火性廃油、トルエン)保管場所の表示、責任者の選定（当該期間該当なし）	-	2024/8/1	河村(匡)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	・ 化学物質排出量の管理	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 水質汚濁の防止	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 大気汚染の予防	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ SDSの確認、管理及び作業者への教育	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 危険物、指定可燃物の保管数量遵守	○	2024/8/1	河村(匡)
消防法	・ 自動火災報知装置の作動確認	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 消火器の設置	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 溶剤の数量管理	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 指定可燃物の届出及び保管数量の遵守	○	2024/8/1	河村(匡)
浄化槽法	・ 浄化槽の定期的な保守、点検、水質検査	○	2024/8/1	河村(匡)
容器包装リサイクル法	・ 容器包装廃棄物の再商品化の促進	○	2024/8/1	河村(匡)
	・ 廃棄物の適正な処理、資源の有効活用	○	2024/8/1	河村(匡)
フロン排出抑制法	・ 全ての管理第1種特定製品の点検（簡易点検）	○	2024/8/1	河村(匡)
環境負荷物質不使用証明書の提出	・ 顧客からの都度要望に応じて、化学物質不使用の調査、書類の提出	○	2024/8/1	河村(匡)

※ 当社に該当する環境法規の遵守状況を確認、違反はありません。

※ 環境当局から違反等の指摘は、過去3年間ありません。

■総括

◆ 本年度 活動結果の分析

- ・ 軽油使用量の増加
前年同様お客様からの注文をまとめ、トラックでの配送を促進したことが考えられる。その為、一般車での配送が減ったことでガソリン消費量は減少した。また、商品をまとめて配送することで積載率向上した。これらは前年度から引き続きみられる傾向である。更に各員の実車率への拘りも効率向上に寄与した思われる。
- ・ コピー用紙の使用量増加
コピー用紙の使用量が前年比、原単位ベースで¥2.15/枚増加した。
業務運用を見直した結果、各部署との書類のやり取りが増加したことが原因と考えられる。
今後は電子化できる業務を増やし、ペーパレスを促進していく。

◆ 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクションへの継続的な取り組みも社員に浸透し、各自意識高く取り組む風土が出来ております。若手からベテランまで自由に意見し、情報・価値を共有する姿勢は弊社ならではの企業文化と考えます。
一方目標値だけを追いかけてしまい、エコアクションを通じて実現したい企業価値を忘れてしまいがちだと感じます。
地域住民に愛される企業として今後も発展していく為に、企業の方向性をしっかり示し企業価値を創造し、会社全体で今後もエコアクションに取り組んで参ります。



TP サーモ包装株式会社

この度は環境活動レポートをご覧いただきありがとうございます。
社内外問わず、弊社の環境保全への取組みを理解していただければ幸いです。
毎年環境活動を取り巻く環境は変化しております。
これからもレポートを充実させ、弊社の取組を周知出来たらと考えております。

編集 サーモ包装株式会社 エコアクション担当係
〒410-0874 静岡県沼津市松長714-5
TEL 055-922-0535
FAX 055-922-4662
E-mail mail@thermopack.co.jp

